トーリセル®による治療を受けられる方へ

投与スケジュール

1日目	2日目以降
トーリセル®	休薬期間

点滴

1コース目（1週間）

1週間を1コースとして繰り返します。

主な副作用と発現時期

次のような症状があらわれたら、医療スタッフにお知らせください。
※　個人差があるので、その他の副作用についても十分注意して下さい。

治療当日～数日	●アレルギー反応（infusion reaction）
治療数日～数週間	●消化管障害　（口内炎、下痢） ●血小板減少　●感染症
治療数週間～数か月	●間質性肺疾患　●皮膚障害 ●高血糖　●脂質異常症

◇アレルギー反応（infusion reaction）
点滴中や投与後24時間以内に、発熱、悪寒、発疹、かゆみ、呼吸困難などの症状が起こる場合があります。事前にアレルギー反応の予防薬を必ず投与しますが、アレルギー症状を感じたらすぐに医療スタッフに連絡してください。

◇口内炎：口の中が痛い、しみる、味がおかしい
うがいなどをして口の中を清潔に保つようにしてください。痛みを伴う場合は早めに報告してください。

◇下痢
下痢が長く続くと脱水症状になってしまうため、水分（スポーツドリンクなど）を補給しましょう。

◇血小板減少：血が出やすい、アザができる
血小板は血液を固める働きがあるため、減少すると血が止まりにくくなります。ケガや転倒・打撲　には十分注意し、歯磨きや鼻かみは優しく行いましょう。

◇貧血
立ちくらみや冷や汗などを避けるために、急に立ち上がるなどせずに、ゆっくりとした動きを心がけましょう。

◇感染症：発熱、寒気、咳、のどの痛み、頭痛
38℃以上の発熱がみられた場合はすぐに受診してください。
抵抗力が低下することがあるため、外出時はマスクを着用し、人ごみを避けましょう。　手洗い、うがいをこまめにしましょう。

◇高血糖
のどが渇く、尿量が多い、体がだるいなどの症状が出ることがあります。定期的に血液検査を行いましょう。

◇脂質異常症
血清中のコレステロールやトリグリセリドなどが増加することがあります。

◇皮膚障害
発疹、爪の障害、そう痒症、ざ瘡などがあらわれることがあります。症状が出る前から保湿、保清しておくことを心がけましょう。

◇間質性肺疾患
息切れ、空咳、発熱などの症状が現れた場合には、すぐに受診してください。

文責：岐阜市民病院薬剤部　TEL: 058-251-1101